

国学院大学久我山中学校入試 理科変更点

<入試問題作成のコンセプト>

中学・高校で理科を学ぶために必要である学力を問う

- 1 小学生が学ぶ理科の知識の定着
- 2 文章やデータをしっかりと読み取り、理解することができる読解力や思考力
- 3 2で理解した事象の定性的に説明できる表現力と定量的に求めることができる計算力

<変更点>

「基準」と「形式」を変更します。過去問題を中心に、受験の定番問題集に取り組んでください。

① 基準

「教科書の知識が定着している前提の出題」

→「**教科書の知識だけでなく受験の定番の問題集レベルの知識が定着している前提の出題**」

② 形式

・ST クラス入試の出題形式

大問1はこれまで空欄補充・選択肢形式の出題としていましたが、この形式にこだわらない出題形式とする。

※令和4年度入試から大学共通テストで問われる「思考力」を問いたいと、作図・説明の記述・グラフをかくなどの問題を出題している。

◎令和6年度入試から

大問1 基本的な知識を問う

物理・化学・生物・地学の4分野から出題。3～5問を出題。

大問2～4 思考力・読解力・計算力を問う

物理・化学・生物・地学の4分野から3分野の大問をそれぞれ1題出題。

大問1題につき、作図・記述を含む小問6～7問出題。

※大問2～4は令和5年度と同じ

・一般・CC クラス入試の出題形式

大問1にあった小問集合をなくし、大問数を4題とする。これまで大問1で問っていた知識問題を、これらの大問の中で出題する。そのため大問1題につき小問を1～2問増やす。

◎令和6年度入試から

大問1～4 基本的な知識・思考力・読解力・計算力を問う

物理・化学・生物・地学の4分野からそれぞれ1題出題。大問1題につき、小問5～7問出題。